



木曽林務課だより

7月

夏休みがやってきました。各小中学生で結成されている「みどりの少年団」の交流集会在、令和6年7月26日（金）に木祖村の「こだまの森」で開催されました。その内容をご紹介します。

木曽地区みどりの少年団交流集会在開催されました！

長野県みどりの少年団連盟 木曽地区協議会では、緑豊かな自然の中での共同作業や森林・林業などに関する学習活動を通じて互いに交流を深め、緑を愛する豊かな心を育むことを目的に「みどりの少年団交流集会在」を毎年開催しています。

今回の交流集会在に、11団127名の少年団員、先生や支援スタッフを合わせると約180名の皆さんが源流の里木祖村の「こだまの森」に集結しました。

協議会長の福島小学校 宮坂校長先生のあいさつと木祖村の奥原村長の歓迎のあいさつで始まった交流集会在。



開会の様子



宮坂協議会長と奥原村長のあいさつ



活動発表の様子



最初に3校（三岳小、日義中、木祖中）から活動発表があり、高性能林業機械の活躍する現場見学を実施した特徴的な発表もありました。

木工体験の様子

メインは班に分かれ行う活動です。初めて会うお友達と名札づくりや自己紹介で打ち解け、木工体験やチャレンジクイズに挑戦しました。木工体験では、木曽五木を材料とするペン立てを製作しました。様々な装飾をしてオリジナリティー豊かな作品ができました。

今回もお友達と交流の輪を育むことができ、活動情報や木に触れることで森林や林業に少しでも関心を持っていただくことができました。



丸太切りクイズ